

(様式2)

令和 2 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590500250		
法人名	株式会社 ケンブリッジ		
事業所名	グループホームひなた		
所在地	柏崎市大字加納5884		
自己評価作成日	2020年12月18日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1590500250-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和3年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・職員数が多いので、一人一人の状態に合わせたケアに力を入れている。
ご自分のできる事はできる限りしていただき、職員と一緒に食事作りや皿洗い、洗濯物畳みなどの手伝い、体操やレク、散歩など、職員と一緒に生活の中にやりがいや楽しみを見つけられるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○一人ひとりの思いや意向に寄り添った支援の取組

日々の関わりを通じて、「共に過ごし、学び、支えあう」関係を築きながら、一人ひとりの思いや意向を掴む工夫をしている。業務日誌の中では『いい表情をされたこと、喜ばれたこと』の記入欄を活用して、職員全員が一人ひとりに関心を払い把握しようと努めている。毎月のミーティングでは情報収集の場として誕生日月の本人の要望や食べたいもの、行きたい所等を話し合い、より深く本人を知ろうとする姿勢がある。利用者の日常の様子を担当職員は、表情豊かな笑顔いっぱいのベストショットを各家族へ写真のお便りとして毎月送っている。また、本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう働きかけ、受診外出の帰りに利用者の自宅に立ち寄ったりと、思いに寄り添った質の高いケアが提供されている。

○働き続けるための働きやすい職場環境への取組

事業所は地域密着型のサービスとしての役割を理解し、5年目を迎える。管理者は変わったばかりではあるが職員との信頼関係は良好であり、話しかけやすく相談しやすい良好の関係が窺えた。毎月のミーティングには全職員が参加し、利用者のケアや業務等について意見交換や話し合いが行われ、情報共有が図られている。これから介護福祉士を取得する若い職員も勤務しており、些細なことでも質問できる職員関係や不適切な言葉かけ等によるケア場面でも、その場で注意の助言や促しができる信頼関係を築いている。相談しやすい職場の雰囲気と意見が述べやすい環境作りが、次の世代を担う働き手を育成するための活気ある職場作りを展開している。

○日々その人らしく暮らし続けるための外出支援

事業所は利用者一人ひとりがその人らしく暮らし続けるために、「外出」は重要な支援と捉えており、日々利用者の想いに添って極自然に外出の機会が提供されている。季節行事のお花見や天気が良い日のドライブ、事業所の畑や近所への散歩、近くのコンビニへ好みのアイスクリームを買いに行ったり、希望する靴を買いに出掛けたりと職員は利用者の希望に添って戸外に出掛けられるよう支援している。感染症対策の観点から家族との面会や交流、外出の機会が制限される中、短時間でも戸外に出る機会を作り気分転換に努め、当たり前のこととして個別の外出支援が行われている。